

# 平成28年度 学校法人 三幸学園 SANKO 日本語学校東京 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 太田 亮一

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 平井 宏子

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、日本語学校分野の学校として「日本語・日本の文化・技術を学び、日本と母国の架け橋となり、日本そして世界を明るくする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」という教育理念の下、専門知識や技術を習得した上で、周囲から尊敬され、親しまれる人間性を併せ持つ人間を育てるという三幸学園の教育目標の下、母国や国際社会の発展に寄与する有益な職業人を海外に多く輩出することを目標に、美容・スポーツ・調理・栄養・医療・保育・福祉の専門学校を保有する三幸学園において、日本語能力とさまざまな日本の専門知識、技術を指導していく。

## 2. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

| 【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）       | 評価 |
|--|----|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4  |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか               | 3  |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか  | 3  |
| 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか           | 4  |

#### ① 課題

・業界のニーズを的確に把握し、それを学校の将来構想、教育目標、目指す人材像に反映させる。

#### ② 今後の改善方策

・各国エージェント訪問、ガイダンス参画の際に、保護者、各国日本語センターへの学校の理念、育成人材像、特色、将来構想などの周知の徹底を念頭において、各人が目的意識を持って訪問する。また、それを教務、進路決定それぞれの面において活用し、業界のニーズに合わせた目標設定をする。

#### ③ 特記事項

学校法人三幸学園は、昭和 60 年以來『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会の有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この教育理念は、教職員に対しては、教職員手帳に明記し配布しているほか、全教職員が一堂に集う「全体会議（年 2 回開催）」や、全国の教職員が集まる研修会である「ビジョンミーティング」や「サマーセミナー」において理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、校長や教職員からの言葉として示すとともに、毎週行っているホームルームの中でも周知を図っている。このほか、入学希望者、保護者に対しては、現地日本語学校訪問、現地での保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学校内外の周知に努めている。

また、「日本語・日本の文化・生活スタイルを習得し、日本から母国へその習得したものを発信し、日本・世界社会に貢献できる人材」を育成することを目指す人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず、人間性を高める教育を併せて展開することにより、真に社会に役立つ人材を輩出できると考えている。

## (2)学校運営

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）     | 評価 |
|--|----|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか                     | 4  |
| 事業計画に沿った運営方針が策定されているか                    | 4  |
| 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 3  |
| 人事、給与に関する制度は整備されているか                     | 4  |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           | 3  |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | 3  |
| 教育活動に関する情報公開が適切になされているか                  | 4  |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 3  |

### ① 課題

- ・業務の効率化、役割の明確化をすることにより教職員のワークライフバランスの浸透を図る。
- ・情報システム化により、業務の効率化をさらに推し進める。

### ② 今後の改善方策

- ・校務メンバー対象の研修等の実施により、役割の明確化・業務の効率化を図る。
- ・グループウェア・学生管理システムの効果的な活用方法の理解・促進。

### ③ 特記事項

#### 1. 運営方針

三幸学園のミッション「人を活かし、世の中の困難を希望に変える」、ビジョン「人を活かし、日本を、そして世界を明るく元気にする」を達成するための今年度の方針を指し示す場として、毎年J職・E職・K職を対象にビジョンミーティングを開催。そこで、今年度の方針等についての浸透を図る。学則に定めた学校の目的、及びそれを達成するための教育目標に基づき、校長、または副校長が「学校運営方針」を定め、その方針に基づき「教務」「進路」等各校務分掌担当者がそれぞれの「運営計画」を作成している。各年度の「学校運営方針」、教務、進路の「運営計画」は年度開始時に開催する全体会議を通して、全教員に示している。教育方針のさらなる浸透、共有化のために、全教職員が一堂に会する全体会議を年に2回開催することを定例化している。

#### 2. 事業計画(経営計画)

学則に定めた学校の目的、及びそれを達成するための教育目標に基づき、校長の指示の下、副校長は理事会の承認を得て、学校の年度ごとの「事業計画(経営計画)」を策定している。「事業計画(経営計画)」には予算等を明示している。各学科、校務分掌組織は「事業計画(経営計画)」により年間の予算等の運営計画を策定して、業務を遂行する。

#### 3. 組織運営

##### (1)設置法人

本校を設置する法人である三幸学園は、理事会、評議会を適切に開催している。理事会、評議会においては必要な審議を行い、適切に議事録を作成している。

## (2)本校

本校の学校運営の組織と構成員、校務分掌は、「三幸学園組織図」「学則」「校務分掌表」に示している。「学則」は、年度ごとに見直しを図られ必要に応じた学則変更を行っている。「校務分掌表」には組織の構成員と担当する校務を明記している。

## 4. 人事・給与に関する制度

### (1)採用

教員については、関係法令により教員資格が定められている分野は、規定通りの人材を確保している。他の分野においても必要要件を満たした人材を確保している。

### (3)教育活動

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）                                      | 評価 |
|---|----|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか   | 4  |
| 目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4  |
| カリキュラムは体系的に編成されているか   | 4  |
| 日本語学校卒業後の進路を見据えた視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか                        | 4  |
| 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか                         | 3  |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか  | 4  |
| 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか  | 4  |
| 資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                                      | 4  |
| 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか                                 | 4  |
| 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか                | 3  |
| 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか                 | 3  |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか  | 4  |

#### ① 課題

- ・キャリア教育を推し進めるために社会ニーズに沿ったカリキュラム・教育方法を開発する
- ・先端的な知識・技能等の習得のためのカリキュラムの見直しとその反映
- ・授業評価の精度向上と、教育への反映

#### ② 今後の改善方策

- ・社会ニーズ、先端的な知識・技能等取得のための授業方法の改善・工夫を行う
- ・授業評価における評価項目の見直しを実施し、教員の質を向上させる

#### ③ 特記事項

- ・学生による授業評価を年1回実施
- ・教員指導力向上の為の研修(年2回)の実施
- ・教務ハンドブック、教育指導指針の作成、共有により、教員の統一した指導を行う体系ができている

#### (4)学修成果

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1） | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 日本語能力の向上が図られているか                     | 4  |
| 日本語能力の習熟度を把握しているか                    | 4  |
| 退学率の低減が図られているか                       | 3  |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか           | 3  |
| 卒業後の進路を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか        | 3  |

##### ① 課題

- ・卒業生の社会的活躍の情報収集と教育活動への反映
- ・精皆勤率の低減
- ・退学率の低減
- ・資格取得、合格率の低迷

##### ② 今後の改善方策

- ・卒業後進路先への密な連絡、訪問等により、卒業生の情報を把握する
- ・資格取得、合格率向上の為の動機づけの強化及び、環境面の整備
- ・授業毎の振り返りと対策、教員の一体化・連携による授業力の向上

##### ③ 特記事項

なし

## (5)生徒支援

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1） | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 卒業後の進路に関する支援体制は整備されているか              | 4  |
| 学生相談に関する体制は整備されているか                  | 4  |
| 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか            | 4  |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                   | 4  |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか                | 4  |
| 学生の生活環境への支援は行われているか                  | 4  |
| 保護者と適切に連携しているか                       | 4  |
| 卒業生への支援体制はあるか                        | 3  |
| 中途退学者への支援体制はあるか                      | 3  |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか            | 3  |

### ① 課題

・卒業生・中途退学者への支援体制の充実化

### ② 今後の改善方策

・三幸学園の規模を生かし、卒業生・中途退学者へのその後の進路に対する支援(主にベトナム)

### ③ 特記事項

・学生寮の完備

## (6)教育環境

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1） | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか     | 4  |
| 使用教材は適切なものか                          | 4  |
| 防災・安全管理に対する体制は整備されているか               | 4  |

### ① 課題

・ICT 教育の推進

### ② 今後の改善方策

・校内無線 LAN の設置

### ③ 特記事項

なし



## (7) 入学者の募集

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1） | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 学生募集活動は、適正に行われているか                   | 4  |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか          | 3  |
| 入学選考は、適性に行われているか                     | 4  |
| 学納金は妥当なものとなっているか                     | 4  |

### ① 課題

- ・募集活動時に、在校生の教育成果が十分に伝えられていない。
- ・当校特色、教育システム等の説明が保護者にまで十分に浸透していない。

### ② 今後の改善方策

- ・各国での説明会の際に、教育成果を十分に伝えられるツールの作成。
- ・各国での募集、説明会の際、留学センタースタッフだけではなく、保護者への当校周知の機会の設定。

### ③ 特記事項

- ・同グループのベトナム現地法人教職員による現地での説明会、試験の実施。
- ・留学センター担当者の当校授業見学の積極的实施。

## (8)財務

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1） | 評価 |
|--------------------------------------|----|
| 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか             | 4  |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか             | 4  |
| 財務について会計監査が適正に行われているか                | 4  |
| 財務情報公開の体制整備はできているか                   | 4  |

### ① 課題

#### 【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

#### 【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

### ③ 特記事項

なし

## (9)法令等の遵守

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）    | 評価 |
|---|----|
| 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営がなされているか | 4  |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか              | 4  |
| 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか                   | 4  |
| 自己評価結果を公開しているか                          | 4  |

### ① 課題

・更なる法令遵守の推進

### ② 今後の改善方策

・会議や掲示物を通じて、全ての教職員に法令遵守に対する啓蒙を積極的に実施していく。

### ③ 特記事項

・平成 30 年度より、日本語教育機関の告示基準の評価基準に従って、点検・評価を行い、結果を報告している。

## (10)社会貢献・地域貢献

| 【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）        | 評価 |
|---|----|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 3  |
| 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 3  |
| 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 3  |

### ① 課題

- ・ボランティア活動の活性化
- ・地域貢献活動の周知

### ② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動の積極的な告知、促し
- ・地域貢献活動の告知・姉妹校の活用

### ③ 特記事項

なし